

＜対策のポイント＞

今世紀後半の温室効果ガスの排出と吸収の均衡の達成に向けた森林分野の取組として、途上国において植林を大幅に増加させるための土地利用計画の策定、山地流域における災害等のリスク評価及び課題の分析を踏まえた地域強靱化のための森林の整備・保全方策の検討、及びこれらの知見や技術の普及を支援します。

＜政策目標＞

- （１） 9ヶ国において森林吸収量を最大限確保するための植林計画等を盛り込んだ土地利用計画が策定[2020年まで]
- （２） 森林・林業分野の知見・技術を活用した、山地流域における地域の強靱化方策を普及

＜事業の内容＞

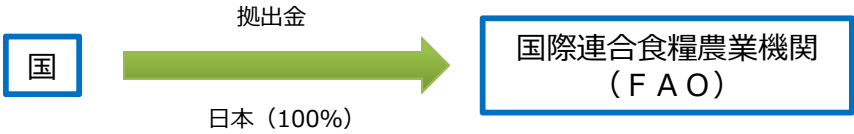
1. 国際的森林吸収機能強化推進事業 38（49）百万円

- 植林の大幅な増加が行われたシナリオに基づく将来的な森林吸収量ポテンシャルの推定を踏まえ、その実現に向けて、途上国において植林を推進するための植林適地の抽出や土地利用計画の策定を支援します。

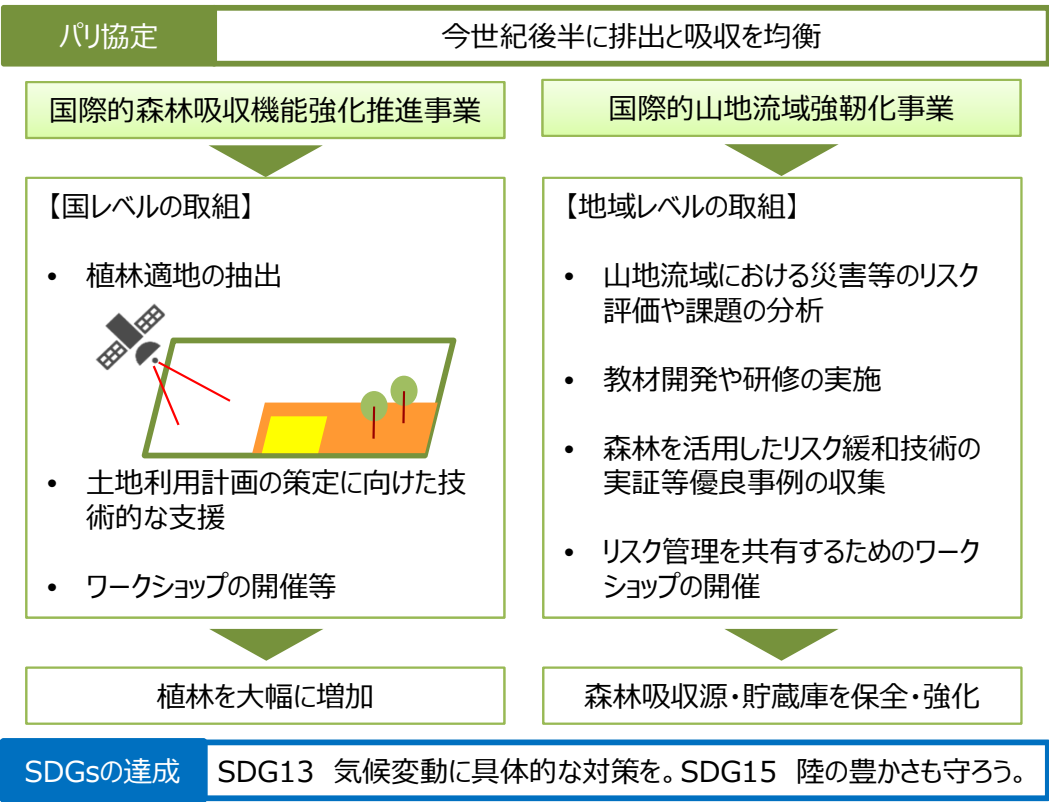
2. 国際的山地流域強靱化事業 52（-）百万円

- 森林の整備・保全等による山地流域の強靱化に向けて、災害等のリスク評価や管理に係る課題の調査や分析、教材開発や研修を通じた能力開発、リスク緩和技術の実証等優良事例の収集やワークショップの開催を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞



【お問い合わせ先】（１）大臣官房海外投資・協力グループ（03-3502-5913）
（２）林野庁計画課（03-3591-8449）